

豊かな学びの場と教育環境の充実をめざして

大学で自分の「好き」を見つけよう！ うらやすこどもクエスト

子どもたちの知的好奇心や広い視野を培うことを目的に、市内の3つの大学（了徳寺大学、明海大学、順天堂大学）の協力を得て、市内の小学4年生から6年生を対象に「うらやすこどもクエスト」を開催しました。

順天堂大学の講義は、台風の影響により中止となりましたが、了徳寺大学では「体幹をきたえよう」をテーマに、グループを作っていろいろな動きに挑戦しました。明海大学では「おもてなし」をテーマに、気持ちを形にして伝えることができるタオルアートに取り組みました。「こころ」と「からだ」について大学の先生や学生のみなさんと楽しく学びました。



▲声をかけ合い、いろいろな動きに挑戦（了徳寺大学）
◀タオルを使って「おもてなし」を表現（明海大学）

浦安を見て、ふれて、感じて、学べる、夏休み企画展 もっと知りたいふるさと浦安

浦安をテーマとした子どもたちの自由研究を応援するため、郷土博物館では夏休み企画展「もっと知りたいふるさと浦安」を開催し、いろいろな体験学習を行いました。

▶浦安にちなんだ紙芝居をつくろう

三番瀬に住むカニ、昔の浦安の民家など、博物館で見つけたことをもとにオリジナルの物語を考え、紙芝居にしました。「初めて紙芝居が作れた」と参加児童の満足した顔が見られました。

▶海苔賞編み体験

海苔づくりに欠かせない海苔賞編み。昔は、小学校3、4年生頃になると家の手伝いとして行い、一日何枚か編まないと「遊びに行かせねーぞ」と言われた人も多かったようです。実際に体験した子どもたちからは、「編むのは大変だったけれど上手にできてうれしかった」「浦安の昔の仕事を体験できてよかった」という声を聞くことができました。



▲自分で作った紙芝居を紹介
◀賞編み台を使って編みました

昔の道具や仕事を体験 郷土博物館・公民館共催事業「わらぼうりづくり」体験

昭和の初めごろまで履物として使用していた「わらぼうり」をどのような思いで、どのように編んでいたのか、実際に体験することで、昔の生活を考える機会にしようと体験会を開催しました。

参加者の声

- 自分にぴったりの大きさのわらぼうりができました。
- わらを編んだのが初めてでとても楽しかった。
- 昔はこんなに苦労してやっていたのだと思いました。
- ずっと座っていて足や腰が痛くなったけれど、できあがった時はとてもうれしかったです。貴重な体験ができて良かったです。



▲足の大きさに合わせて、わらを編みます
◀上手にできました

中央図書館

「好き」を仕事に 夏休み図書館クラブ

小学校高学年から高校生を対象に、本への興味や図書館サービスへの理解を深めることを目的に実施し、毎年、人気の体験学習の機会となっています。

今年度は11名が参加し、カウンター業務や本を棚に戻す作業を行いました。普段は入れない地下書庫の見学も行い、図書館をより身近な存在に感じてもらうことができました。



▲カウンターでの仕事を体験

地域の身近な学びの場に うらやすまるごとこども広場 ～県民の日～

中央図書館では「絵本と絵本カルタを楽しむ会」を開催しました。カルタ取りでは、未就学児と小学生の2グループに分かれ、保護者の方も一緒になって絵本カルタを楽しみました。

郷土博物館では「鉄を使った工作教室」を開催しました。鉄鋼団地で働く方々を講師に迎え、子どもたちは鉄を加工して、スプーンやS字フック作りに夢中で取り組んでいました。



▲鉄を使った工作教室 ▲絵本と絵本カルタを楽しむ会

うらやす管弦楽フェスティバル2018（8月24日～26日）

小学3年生から中学生までの63名が参加し、最終日には文化会館の大ホールで発表コンサートを行いました。

参加者の半数以上が初めて弦楽器に触る子どもたちでしたが、「2時間の練習があつという間だった。もっと弾きたい」「先生と同じ音が出せてとても嬉しい」など弦楽器の魅力を味わうことができました。ゲスト出演者（浦安ユースオーケストラ、浦安カルテット！、明海中学校管弦楽部）の演奏に憧れ、「ユースオーケストラに入りたい」「中学生のお姉さんのように弾けるようになりたい」と次の目標を語る声も聞かれました。



▲発表コンサート
◀楽器ごとに分かれて練習

中央公民館リニューアルオープン

7月に行われたオープニングイベントでは、浦安太鼓連の太鼓演奏と浦安小学校吹奏楽部の演奏が行われました。また記念イベントとして、お点前（お茶の提供）や作品の展示、寄席を開催し、会場は多くの方々の笑顔に包まれていました。

新しく変わった施設の紹介

▶授乳室・保育室の充実

1階に授乳室を新設し、2階の保育室に床暖房と幼児用トイレを設置しました。

▶トイレ・エレベーターなど館内設備のバリアフリー化

トイレの洋式化や多機能トイレを増設、車椅子対応のエレベーターを設置する等、「バリアフリー法」および「県福祉のまちづくり条例」に対応するように改修しました。

更に、4階大集会室は、難聴者の聞こえをサポートする「磁気ループシステム」を採用しました。



▲吹奏楽部によるオープニング演奏



▲多機能トイレ

たくさんの学びを情報誌でお知らせ

市内にある社会教育施設では、年間を通してたくさんの講座を開催しています。こども向け事業をまとめた情報誌「このゆびとまれ」や、公民館の講座やお知らせを掲載した情報誌「ルネサンス」で紹介していますので、ぜひご覧ください。

